

科目別シラバス

科 目	1. 職務の理解(6時間)
指導目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におうけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのかを具体的にイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようにする。
項 目	内容・学習ポイント
①多様なサービスの理解	介護保険による居宅、施設サービスの種類とサービスが提供される場の特性や介護保険外のサービスの種類とサービスが提供される意義や目的を理解する。
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	<ul style="list-style-type: none"> ●各種サービスの内容や利用者像などを通じて、介護職の仕事内容や働く現場を理解する。 ●居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ(現場職員の体験談等) ●ケアプランの位置づけに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携
その他	使用する備品等 ・介護職員初任者研修課程テキスト1

科目別シラバス

科 目	2. 介護における尊厳の保持・自立支援(9時間)	
指導目標	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点およびやってはいけない行動例を理解させる。	
項 目	内容・学習ポイント	
①人権と尊厳を支える介護	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護を必要とする人が有する権利が何かを学ぶ。 ● 介護に関する基本的な視点(ICF,QOL,ノーマライゼーション)について理解する。 ● 虐待防止・身体拘束禁止について理解する。 ● 利用者の権利を擁護するための制度の種類や内容について理解する。 	
②自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護における自立とは何かを学ぶ。 ● その人らしさを尊重するために、介護職として配慮すべき点について理解する。 ● 介護の予防の考え方について理解する。 	
その他	使用する備品等 ・介護職員初任者研修課程テキスト1	〈通信〉 問題数13問 ・五択問題8問 ・記述問題5問 教材「介護職員初任者研修課程テキスト1～3」

科目別シラバス

科 目	3. 介護の基本(6時間)	
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解させる。 ・介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉えることができるように指導する。 	
項 目	内容・学習ポイント	
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	<ul style="list-style-type: none"> ●介護環境の特徴、(施設と在宅との違い、地域包括ケアの方向性など)を学ぶ。 ●介護の専門性について考え、専門職に求められるものが何かを学ぶ。 ●多職種連携の目的を学び、利用者を支援するさまざまな専門職について理解する。 	
②介護従事者の倫理	<ul style="list-style-type: none"> ●介護職がもつべき職業倫理を学ぶ。 ●介護職としての社会的責任、プライバシーの保護・尊重について学ぶ。 	
③介護職における安全の確保とリスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の生活を守る技術としてのリスクマネジメントを学ぶ。 ●利用者を取り巻く介護チームで安全な生活を守るしくみについて学ぶ。 ●感染の原因と経路、正しい知識について学ぶ。 	
④介護職の安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> ●介護職の特徴を踏まえ、介護職自身の健康管理の必要性について学ぶ。 ●介護職に起こりやすいところとからだの病気や障害について学ぶ。 ●介護職自身の健康管理の方法について学ぶ。 	
その他	使用する備品等 ・介護職員初任者研修課程テキスト1	〈通信〉 問題数11問 ・五択問題7問 ・記述問題4問 教材「介護職員初任者研修課程テキスト1～3」

科目別シラバス

科 目	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携(9時間)	
指導目標	介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できるように指導する。	
項 目	内容・学習ポイント	
①介護保険制度	<ul style="list-style-type: none"> ●介護保険制度が創設された背景を理解したうえで、制度の目的と同行について学ぶ。 ●介護保険制度の基本的なしくみを理解する。 ●介護保険制度にかかわる組織とその役割を理解するとともに、制度の財政について学ぶ。 	
②介護と医療の連携	<ul style="list-style-type: none"> ●介護職と医療行為の実情と経過について理解する。 ●在宅および施設における介護職と看護職の役割・連携について理解する。 	
③障害者自立支援制度	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者福祉制度における障がいの概念について、その歩みを踏まえて学ぶ。 ●障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解を学ぶ。 	
④個人の権利を守るその他の制度	<ul style="list-style-type: none"> ●個人情報保護法、成年後見制度、日常生活自立支援事業を学ぶ 	
その他	使用する備品等 ・介護職員初任者研修課程テキスト1	〈通信〉 問題数21問 ・五択問題13問 ・記述問題8問 教材「介護職員初任者研修課程テキスト1～3」

科目別シラバス

科 目	5. 介護におけるコミュニケーション(6時間)	
指導目標	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき(取るべきでない)行動例を理解させる。	
項 目	内容・学習ポイント	
①介護におけるコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 対人援助関係におけるコミュニケーションの意義と目的を理解する。 ● 介護におけるコミュニケーションの役割と技法について理解する。 ● 事例を通して、利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際を理解する。 	
②介護におけるチームのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護における記録の意義と目的を理解し、書き方の留意点などについて学ぶ。 ● チームのコミュニケーションに必要な報告・連絡・相談の意義と目的を理解し、具体的な方法について学ぶ。 ● 会議の意義と目的を理解し、具体的な進め方について学ぶ。 	
その他	使用する備品等 ・介護職員初任者研修課程テキスト2	〈通信〉 問題数9問・五択問題6問・記述問題3問教材「介護職員初任者研修課程テキスト1～3」

科目別シラバス

科 目	6. 老化の理解(6時間)	
指導目標	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解させる。	
項 目	内容・学習ポイント	
①老化に伴うこととからだの変化と日常	<ul style="list-style-type: none"> ● 老化が影響を及ぼす心理や行動には個人差が大きいことについて理解する。 ● 老化とともに社会的環境が心理や行動に与える影響について理解する。 ● 多くの側面にわたる身体的老化現象と日常生活への影響について理解する。 	
②高齢者と健康	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者に多くみられる症状や訴えがどのような疾病から起こるかなど、その特徴について理解する。 ● 高齢者に多い病気の原因や特徴、その病気をかかえる高齢者の生活上の留意点について理解する。 	
その他	使用する備品等 ・介護職員初任者研修課程テキスト2	〈通信〉 問題数8問 ・五択問題4問 ・記述問題4問 教材「介護職員初任者研修課程テキスト1～3」

科目別シラバス

科 目	7. 認知症の理解(6時間)	
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解させる。	
項 目	内容・学習ポイント	
①認知症を取り巻く状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症を中心としてケアから、その人を中心としたケアに転換することの意義を理解する。 ● 問題視するのではなく、人として接することを理解する。 ● 出来ないことではなく、出来ることをみて支援することを理解する。 	
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 老化のしくみと変化を学び、認知症の原因を理解する。 ● 認知症に類似した症状をもつ疾病を学ぶ。 ● アルツハイマー型認知症、血管性認知症をはじめとした認知症の主な原因疾患の病態、症状について学ぶ。 	
③認知症に伴うこととからだの変化と日常生活	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症の症状を知ることによって、どのようなケアが必要かを学ぶ。 ● 認知症の人の行動と環境との関係について理解する。 ● 病気の症状があっても、その人の尊厳を守る視点をもつことについて理解する。 	
④家族への支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 家族介護者の介護の大変さについて理解し、レスパイトの重要性を学ぶ。 ● 家族とは、助けるだけの存在ではなく、ともに認知症の人を支えていくパートナーであることを学ぶ。 	
その他	使用する備品等 ・介護職員初任者研修課程テキスト2	〈通信〉 問題数9問 ・五択問題5問 ・記述問題4問 教材「介護職員初任者研修課程テキスト1～3」

科目別シラバス

科 目	8. 障害の理解(3時間)	
指導目標	障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。	
項 目	内容・学習ポイント	
①障害の基礎的理解	<ul style="list-style-type: none"> ●障害とはどういうものなのかという考え方を学ぶ。 ●国際生活機能分類(ICF)に基づきながら、障害の概念について理解する。 ●障害者福祉の基本理念(ノーマライゼーション、リハビリテーション、インクルージョン)について理解する。 	
②障害の医学的側面の基礎的知識	<ul style="list-style-type: none"> ●障害の原因となる主な疾患を理解する。 ●障害に伴う心理的影響、障害の受容を理解する。 ●障害のある人の生活を理解し、介護上の留意点について学ぶ。 	
③家族の心理と理解	<ul style="list-style-type: none"> ●家族支援は、家族介護の肩代わり支援だけではないことを学ぶ。 ●わが国に求められるレスパイトサービスの課題を学ぶ 	
その他	使用する備品等 ・介護職員初任者研修課程テキスト2 アイマスク、白杖等演習にかかる備品	〈通信〉 問題数7問 ・五択問題5問 ・記述問題2問 教材「介護職員初任者研修課程テキスト1～3」

科目別シラバス

科 目	9. こころとからだのしくみと生活支援技術(75時間)	
指導目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるように指導する。尊厳を保持し、その人の自立及び自立を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得させる。	
項 目	内容・学習ポイント	
基本的知識の学習		
①基本的な考え方	●介護が理論的・法的にどのような変遷をたどってきたかについて理解する。	
②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	●学習と記憶に関する基礎的な知識を理解する。 ●感情と意欲に関する基礎的な知識を理解する。 ●自己概念と生きがい、老化や障害の受容に関する基礎的な知識を理解する。	
③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	●骨や関節など、からだの動きのメカニズムを理解する。 ●神経の種類とその働きを理解する。 ●眼や耳、心臓をはじめとするからだの器官の働きを理解する。	
その他	使用する備品等 ・介護職員初任者研修課程テキスト3 ・ベッド、車椅子、ポータブルトイレ、簡易浴槽、布団、枕、クッション、タオル(バスタオル、フェイスタオル)、オムツ、パット、バケツ、ドライヤー、血圧計、洗面器、パジャマ、浴衣、シャンプー、石鹸、歯ブラシ、コップ、白杖、アイマスク等演習にかかる備品	〈通信〉 問題数20問・五択問題14問・記述問題6問 教材「介護職員初任者研修課程テキスト1～3」

科目別シラバス

科 目	9. こころとからだのしくみと生活支援技術(75時間)	
指導目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるように指導する。尊厳を保持し、その人の自立及び自立を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得させる。	
項 目	内容・学習ポイント	
生活支援技術の講義・演習		
④生活と家事	<ul style="list-style-type: none"> ●生活を継続していくための家事の重要性について学ぶ。 ●家事援助(調理、洗濯、掃除などの援助)は利用者にとってどのような意味があるのかを理解する。 ●家事援助とは何かについて具体的に理解する。 	〈通信〉 問題数18 問 ・五択問 題15問・ 記述問題 3問 教材 「介護職 員初任者 研修課程 テキスト1 ～3」
⑤快適な居住環境整備と介護	<ul style="list-style-type: none"> ●安心して快適に生活するために必要な環境の整備とは何かについて学ぶ。 ●住まいにおける安心・快適な室内環境の確保の仕方について学ぶ。 ●高齢者や障害のある人が生活するなかで、住宅改修や福祉用具を利用する意味や視点を学ぶ。 	
⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ●整容の必要性と整容に関連するこころとからだのしくみを理解する。 ●利用者本人の力を活用し、整容の介護を行うための技術を身につける。 	
⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ●移動、移乗の必要性と移動、移乗に関連するこころとからだのしくみを理解する。 ●利用者本人の力を活用し、移動、移乗の介護を行うための技術を身につける。 ●心身機能の低下が移動、移乗に及ぼす影響について理解する。 	
⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ●食事の必要性と食事に関連するこころとからだのしくみを理解する。 ●利用者本人の力を活用し、食事の介護を行うための技術を身につける。 ●心身機能の低下が食事に及ぼす影響について理解する。 	

科目別シラバス

科 目	9. こころとからだのしくみと生活支援技術(75時間)	
指導目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるように指導する。尊厳を保持し、その人の自立及び自立を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得させる。	
項 目	内容・学習ポイント	
生活支援技術の講義・演習		
⑨入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ●入浴、清潔保持がもたらす心身への効果と入浴に関するこころとからだのしくみを理解する。 ●利用者本人の力を活かし、楽しい入浴の介護を行うための技術を身につける。 ●心身機能の低下が入浴、清潔保持に及ぼす影響について理解する。 	
⑩排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ●排泄の必要性和排泄に関連するこころとからだのしくみを理解する。 ●利用者本人の力を活用し、気持ちよい排泄の介護を行うための技術を身につける。 ●心身機能の低下が排泄に及ぼす影響について理解する。 	
⑪睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> ●睡眠の必要性和睡眠に関連するこころとからだのしくみを理解する。 ●心地よい安眠を支援するための知識と技術を身につける。 ●心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響について理解する。 	
⑫死にゆく人のこころとからだのしくみと終末期介護	<ul style="list-style-type: none"> ●終末期の捉え方を学ぶ。 ●終末期から死までの身体機能の変化について理解し、状況に合わせた対応を学ぶ。 ●死に直面した時の人の心理状況について理解し、こころの変化の受け止め方を学ぶ。 	
その他	使用する備品等 ・介護職員初任者研修課程テキスト3 ・ベッド、車椅子、ポータブルトイレ、簡易浴槽、布団、枕、クッション、タオル(バスタオル、フェイスタオル)、オムツ、パット、バケツ、ドライヤー、血圧計、洗面器、パジャマ、浴衣、シャンプー、石鹸、歯ブラシ、コップ、白杖、アイマスク等演習にかか	〈通信〉 問題数12問 ・五択問題10問 ・記述問題2問 教材「介護職員初任者研修課程テキスト1～3」

科目別シラバス

科 目	9. こころとからだのしくみと生活支援技術(75時間)
指導目標	介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できるように指導する。尊厳を保持し、その人の自立及び自立を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得させる。
項 目	内容・学習ポイント
生活支援技術の講義・演習	
⑬専門性を活かした介護過程の展開	●介護過程の目的、意義、展開や介護過程とチームアプローチの基礎を理解する。
⑭総合生活支援技術演習(事例による展開)	●生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得 ●事例の提示からこころとからだの力が発揮できない要因の分析、適切な支援技術の検討、支援技術演習、支援技術の課題と1事例1.5時間程度のサイクルで実施する。
その他	使用する備品等 ・介護職員初任者研修課程テキスト3 ・ベッド、車椅子、ポータブルトイレ、簡易浴槽、布団、枕、クッション、タオル(バスタオル、フェイスタオル)、オムツ、パット、バケツ、ドライヤー、血圧計、洗面器、パジャマ、浴衣、シャンプー、石鹸、歯ブラシ、コップ、白杖、アイマスク等演習にかかる備品

科目別シラバス

科 目	10. 振り返り(4時間)
指導目標	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。
項 目	通信(時間数)
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修を通して感じたこと、学んだこと、考えたこと。 ● 介護職が大切にすべき視点。 ● 就業への備えと研修修了後における継続的な研修演習→事例によりグループごとに実技後ディスカッションを行う。
合 計	使用する備品等 ・介護職員初任者研修課程テキスト3 ・ベッド、車椅子、ポータブルトイレ、簡易浴槽、布団、枕、クッション、タオル(バスタオル、フェイスタオル)、オムツ、パット、バケツ、ドライヤー、血圧計、洗面器、パジャマ、浴衣等演習にかかる備品
